

## 本授業の主張点

単元の終末過程において自分の成長について振り返り、特に自分が成長したと思う点を基に、自分の身近な地域の人々にどのように関わっていききたいか、具体的な取組を表現する児童の姿を目指します。

## 1 単元名 さがん町の「すごか人」(内容3, 4, 8)

## 2 単元の目標

附属小学校近くの地域に住む人々や働く人々と触れ合い、地域の人々の知恵や工夫について学ぶことを通して地域のよさや自分との関わりに気付くことができる。また、地域の人々に関わることができた自分のよさや成長について気付き、これから親しみをもって自分の身近な地域の人々と関わろうとすることができる。

## 3 単元の評価規準「学力デザイン レベル2より」

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
地域の人々と触れ合う活動に関心を持ち、地域の人々に進んで関わろうとする。	地域の人々と触れ合いながら学びとったことや人々の工夫について考えたことを素直に表現する。	地域の人々と触れ合う楽しさや地域の人々の知恵、地域の人々に関わることができた自分のよさに気付く。

## 4 単元とその指導

## (1) 児童について

本学級の児童は、1年生での学校探検で校内で働く人々への接し方として挨拶やお尋ねなどを身につけてきている。また、2年生になり、6月に町の様子を探検をしたことがある。その際、グループで挨拶やインタビューをした経験がある。そして、町探検で建物やそこにある物や自然などに目を向ける児童が多かったが、地域の施設へ関わる活動を繰り返すうちに、地域の人々への意識も少なからず出てきた様子が発言や発表からある。

しかし、登下校中などで校外で出会った人々や地域の方々へ自分たちから挨拶をし、触れ合おうとする様子はあまり見られない。

これらのことから、自分が生活する地域の人々と適切に触れ合う活動を単元の中に位置付けることは、これからの生活をよりよくしていく上で意義があると考えられる。

## (2) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(3)と内容(4)、内容(8)を中心として単元を設定している。これは、生活科の内容構成において、「児童の生活圏としての環境に関する内容」と「自らの生活を豊かにしていくために低学年の時期に体験させておきたい活動に関する内容」である。地域の施設や人々と関わることで地域に愛着や親しみを感じたり、公共物や公共施設の利用を通して支えている人々や安全な利用の仕方について学ぶことができる単元である。

具体的な指導として、地域で活躍されている人々と仲良くなることを中心として活動を仕組む。地域に出かけ、施設等の見学やインタビューをすることが主な活動となる。また、見学やインタビューを通して得た情報をお互いに教え合い紹介することで、自分の学びをより確実なものにしていくことができると考える。

更に、これらの活動を通して、地域の人々と触れ合う楽しさを味わい、自分の行動を振り返りながら、自分の成長を感じ取らせたい。そして、自分の住む地域や関わりのある地域の人々と関わろうとすることについて考えさせていきたい。

## (3) 指導について

まず、「であう」過程では、6月の町探検でどんなところにどのような人々と触れ合ったか想起することをきっかけに、試しの活動として学校の回りを全員で見回す。探検したことのある場所で、実際に見て回る活動やインタビューを行うことが考えられる。これらの試しの活動は、自分の身の回りにある地域の複数の施設や人々の中から、特に関わりたいと思

う地域の人を選び出す判断材料になると考える。そして、「みとおす」過程で、特に関わりたい地域の人を選び、どのように関わっていきたいか決めていく。関わりたい地域の人ごとにグループを作り、関わる計画について話し合わせるようにする。

次に、「おこなう」過程では、グループで計画した活動案を基に実際に交流を行う。直接、インタビューや見学をする活動により、地域の人と直接交流する楽しさや地域の人々の仕事や人柄等について新たに発見することができる喜びを味わわせたい。

そして、最後に「ひらく」過程では、単元全体の活動を振り返ることを通して、地域の人と触れ合う楽しさや新しい発見ができたこと、自分から関わるができたなどの自分についての気づきを実感させたい。更にこれらの気づきを基に、自分の生活の中で関わる地域の人々に積極的に関わろうとする意識をもたせ、より日常生活に生かすことができるように、具体的な取組を明確にさせていきたい。ここでは、単元終了後、自分を取り巻く地域の人々にどのような関わりをしていくか、考えられる多くの関わり方の中から主体的に理由をもって選び出す活動（「つぎへのいっぽタイム」）を行う。この活動は、今後この活動を繰り返すことによって、関わりたいと思う対象や活動を主体的に選び出すことにつながると考える。

## 5 単元の指導計画（全13時間）

※   は、視点に関わる部分

過程	時配	主な学習活動（○）と児童の意識（・）	主な教師の働きかけ（■）	評価の重点 (主な評価資料)
であ う	1	○ 前単元の県立図書館についての学習や6月に行った町探検の学習を思い出し、地域の人々について話し合う。 ・ お弁当屋さんに親切な人がいたね。味見をさせてもらったよ。 ・ 博物館で詳しく説明して下さった係の人がいらっちゃったよ。	■ これまで探検してきた地域の施設を手がかりに、そこに関わる人々に焦点を当てるようにしていく。 ■ 自分の今の興味・関心についても意識させるように発言を引き出す。	関心・意欲・態度① (発言・活動の様子)
	2 3	○ 学校近くの様々な施設を見て回り、どのような人々がいたか、想起したり、新たに出会ったりする。 ・ 放送局にはアナウンサーの方やカメラマンさんがいると思うよ。 ・ 中学校には、校長先生や、事務室の先生、警備員さんもいらっちゃったよ。 ・ 行ったことがないこのお店には、どんな人が働いているのかな？	■ 自分の興味・関心がありそこらところを各自の視点として学校近くの様子を見て回ることを伝える。 ■ 活動後「おためしマップ」に学校近くの地域で気になるところや気になる人々について複数記入させていく。	関心・意欲・態度② (活動の様子・おためしマップ)
みと お す	4	○ 前時で想起した人々や出会った人々で、もっと触れ合いたい人を選び、グループを作る。 ○ グループで「すごか人」探検計画について話し合う。 ・ 放送局で働く人々はどんな人がいるか、聞きに行きたいな。 ・ パンを作っている人に、いつも何時から作り始めているか、尋ねたいな。	■ 「おためしマップ」や活動の様子の写真を基に自分の興味・関心を踏まえて、詳しく調べたい「すごか人」を選ばせるようにする。 ■ 具体的に尋ねることや、見てくるものや様子、「すごか人」へのお願いについても考えさせておくようにする。	思考・表現① (活動の様子・ワークシート)
お こ な う	5 6	○ もっと触れ合いたい「すごか人」探検を行い、日々の生活で工夫されていることや努力されていることを見つける。 ・ お豆腐屋さんは、朝3時には起きています。配達もあちこちに行くんだって。 ・ ピザ屋さんは夜11時まで開いていて、その後、片付けをして帰るので、12時過ぎて家に着くそうだよ。大変なお仕事なんだね。	■ 前時に決めたグループで行動し、安全やマナーについても考えた行動を心がけさせるように事前に伝えておく。 ■ 事実だけでなく仕事上の工夫や、それを聞いて大変だと思うことなどを書き留めるように事前に伝えておく。	気づき① (活動の様子・ワークシート)
	7	○ 前時の活動で見つけたことをお互いに知らせ合い、質問をしたり「よし・もっ	■ 2～3のグループでお互いに紹介し合わせ、質問タイム	思考・表現②

	とカード」に書いたりする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校の校長先生は、全校朝会でどんなお話をされたことがあるか、知りたいなあ。</li> </ul> ○ もらった「よし・もっとカード」を基に、グループでもっと詳しく調べてくる計画について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校朝会でのお話の内容を尋ねてこなくちゃね。紙に書いてもらうことはできるかな？</li> </ul>	に尋ねたり「よし・もっとカード」を書いたりするように促す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 受けた質問や「よし・もっとカード」への記述を基にグループ内で、もっと調べてくることや、インタビューする事柄について話し合わせる。</li> </ul>	(発言・ワークシート)
8	○ 立てた計画に沿ってもっとよく見てきたり尋ねたりし、新たな発見をしてくる。	■ 「すごか人」について更に詳しく分かるような活動を意識させるために、「よし・もっと」カードを生かした話し合いをするよう伝える。	気付き② (活動の様子・ワークシート)
9	・ お店の◇◇さんが、嬉しいと思うときは、「また来ます。」とお客さんから言ってもらったときなんだって。		
10	○ 2回目の探検で更に発見した「すごか人」の秘密を、伝え合う準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アナウンサーの◇◇さんは、始まる前に何回も原稿を読み直し、間違えないようにしているんだって。様子を写真で知らせようかな。</li> </ul>	■ 働く人々の様子を実際にして見せたり写真を使ったり、話をまとめたりするなど、伝える方法について工夫させるようにする。	思考・表現③ (活動の様子・ワークシート)
11	○ 2回目の探検で更に発見した「すごか人」の秘密を、お互いに伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぼくたちが紹介したい「すごか人」は、▽▽というお店の◇◇さんです。◇◇さんは、何がすごいかというと、□□を最初から完成まで一人で作っているということです。一人で何でもできるスーパーマンです。</li> </ul>	■ グループごとに紹介し、聞く側は、自分が「すごか人」と思う人をワークシートに記入していくことを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 紹介後、グループで自分たちの紹介や活動について振り返らせる。</li> </ul>	気付き③ (活動の様子・発言・ワークシート・グループの振り返りカード)
ひらく	12 ○ 前時の活動も含め、単元全体の活動を振り返り、自分ができるようになったことや上手になったことなどを振り返りカードに書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 尋ねたいことが自分で見つけることができるようになったよ。</li> <li>・ 写真を使っただけのまとめが上手になったよ。</li> </ul>	■ 単元全体の活動を振り返るために、これまでのワークシートや写真等を活用する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自分の成長や上達したと思う事柄を出させ、その上で特に重要だと考えていることを明確にさせる。</li> </ul>	気付き④ (発言・振り返りカード)
13 (本時)	○ 特に大事にしていききたい気付きを確かめ、そこから考えられる事柄を考えワークシートに書いていく。 ○ 考えられる事柄の中から、これから地域のどんな人々に関わるか、どのように関わるかについて選び、具体的な取組を「これからプラン」に書いて紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス停近くの□□というお店の人にお尋ねをしてみたいな。</li> <li>・ 前に行った◇◇教室の先生にもインタビューしてみよう。もっと仲良くなれるといいな。</li> </ul>	■ 大事にしていききたい気付きを中心に活動できそうな事柄をウェビングで考えさせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関わりのある地域の人々について、取り組んでいきたい具体的な活動を自分なりの理由をもって明確に示させるようにする。(「つぎへのいっぽ」タイム)</li> </ul>	思考・表現④ (発言・ワークシート)
日常活動	○ 「これからプラン」を随時行い、取り組んだ結果を発表していく。 ○ お互いの紹介を見たり聞いたりして、相互評価を行う。	■ 一定期間内に自主的な取組として位置付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 朝の会等の時間に発表する場を設ける。</li> </ul>	

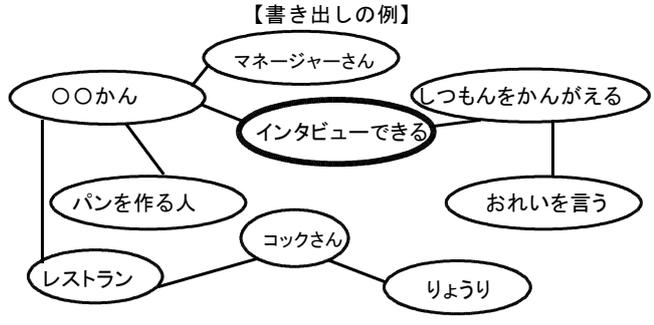
## 6 本時の指導 (本時13/13)

### (1) 目標

本単元におけるこれまでの活動の振り返りから得られた、地域の人と触れ合う楽しさや自分のよさなどの気付きを基に、これから地域の人々と日常的に関わっていききたいことを具体的に考えることができる。  
(活動や体験についての思考・表現)

(2) 展開

※   は、視点に関わる部分

学習活動と児童の意識	教師の働きかけ (○) と形成的評価 (◆)
<p>1 前時の活動を振り返り、単元を通して、自分ができるようになったことや上手になったことを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分で考えて、インタビューができるようになったよ。</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>ちいきのいろいろな人となかよくなる「これからプラン」をかんがえよう</p> </div>	<p>○ 前時の振り返りカードを基に分かったことやできるようになったこと、上手になったことなどの気付きの中から選んだ、特に大事にしたい気付きを確かめさせる。</p> <p>○ できるようになったことなどから一例を取り出し、次のステップとしてどんなことができそうか、意見を出させるようにする。</p>
<p>2 確かめたことから、自分が特に大事にしていきたい気付きを基点とし、これからできそうな事柄をワークシートに書き出していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>6月に行った〇〇館のマネージャーさんにはインタビューしていないなあ。質問を考えようかな。</p>  </div> <p>3 書き出した事柄の中から、これから関わりたい対象や活動を3つ程度考え、ワークシートに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家の近くの〇〇商店に行って、いつかここにあるかインタビューしてみようかな。</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家の近くには〇〇を作る畑があるよ。〇〇を作っているおじさんに、他にはどんな物を作っているか聞いてみたいなあ。</p>  </div> <p>4 3つの中で、選んだ対象や活動を比較・検討し、ランク付けを行い、一番関わりたいと思う地域の人々を選び、具体的に「これからプラン」として関わり方まで明記していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>私は、家の近くのお花屋さんに行ってみるよ。働いているお姉さんに、どんなお花が今一番売れているかとか、好きなお花は何か、尋ねるつもりだよ。お花屋さんのお仕事は、どんなお仕事があるかも知りたいな。</p>  </div>	<p>○ 自分がしてきた地域の人々への関わりを踏まえさせて書き出させるように言葉かけをする。</p> <p>○ 下記のように、自分が大事にしたい気付きからつながるようにウェビングで書き出させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【書き出しの例】</p>  </div> <p>○ これからの方向性を自分の思いや願いと照らし合わせて考え、絞り込んでいくようにするために、候補として3つ程度選ばせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>◆ これから関わりたい地域の人を、書き出した事柄とつなげて選び出しているか。(ワークシート)</p> <p>A: 書き出したウェビングとつながる明確な理由を伴って、地域の人を選び関わり方まで書き出している。</p> <p>B: 書き出したウェビングとつながる明確な理由を伴って、地域の人を選び出している。</p> <p>→ 選んだ地域の人とどのように関わっていきたいか問いかけ、引き出していくようにする。</p> <p>C: 理由を伴うことなく地域の人を選び出している。</p> <p>→ 選び出した地域の人について、書き出したウェビングを使いながら、どうして選んだか、問いかけながら理由について考えさせるようにする。</p> </div> <p>○ 自分の活動を意識させるために、関わっていく地域の人や関わり方を「これからプラン」に絵や言葉で表し掲示していくことを伝える。その際、選んだ決め手は何かまで引き出すために問いかけていく。</p> <p>○ 関わり方として、具体的に知りたいことや実際にインタビューする言葉等についてもふれ、今後の活動への見通しをもたせるようにする。</p>
<p>5 取り組んでいこうとする「これからプラン」を紹介する。</p>	<p>○ お互いに「これからプラン」を紹介し合うことで、取組への意欲を高めさせるようにする。</p> <p>○ 具体的な内容まで考えたことを称賛し、今後の取組やがんばりに期待していることを伝える。</p>